

12 昇降機 Elevators and Escalators

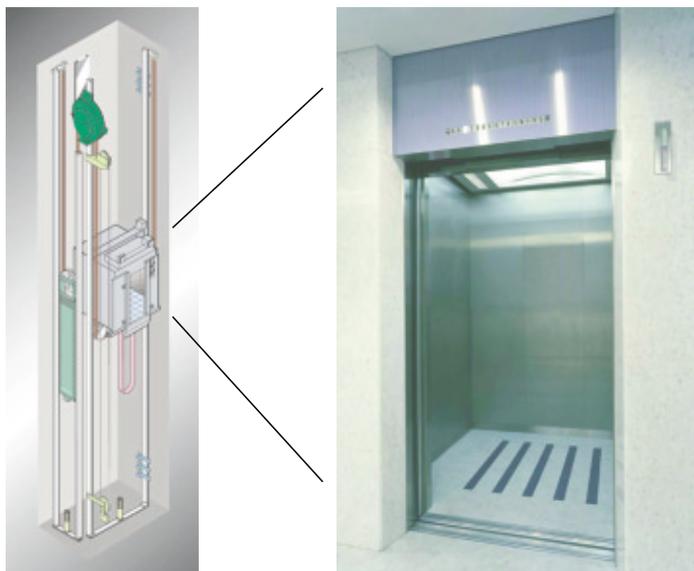
東芝エレベータ(株)

マシンルームレスエレベーターを他社に先駆けて、1998年8月に市場へ投入し、その後、昇降路寸法短縮など建物側のメリットを拡大してきました。更に今回、経営方針であるカスタマーディライトのキーワード“お客さまの感動は私たちの喜びです”と、お客さまの多様化する要求に合わせ、定員、利用目的、のりばデザインを拡大したオーダー・SPACEL™を開発し、2001年4月に発売を開始しました。

また、エレベーターかご室を二階建てにしたダブルデッキエレベーターは、98年4月より中国上海市で順調に稼働中ですが、従来の構造に替え、建物設計の自由度を一段と向上させることができるように、両かごの間隔を可動できる階間調整機能付ダブルデッキエレベーターを開発、商品化しました。

技術本部長 原田 豊

オーダー形マシンルームレスエレベーター オーダー・SPACEL™ (スパーセル™)



オーダー・SPACEL™ (スパーセル™)
Made-to-Order SPACEL™ machineroomless elevator

SPACEL™ (スパーセル™)を1998年に発売して以来、標準形エレベーターではマシンルームレス形が市場の中心となっている。

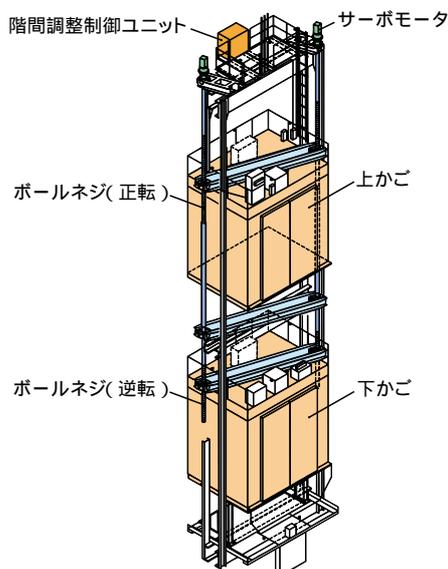
今回、定員・積載を拡大したオーダー形の発売を開始した。

その特長は、次のとおりである。

- (1) 60 m/分以下では定員30人(積載2,000 kg)、105 m/分以下では定員27人(積載1,800 kg)までの豊富な機種から選択可能
- (2) 乗用だけでなく、荷物の運搬も考慮した人荷用にも対応し、利用目的に合わせたかご寸法の選択が可能
- (3) 主要機器を昇降機内に設置し、オーダー形ならではの様々なのりばデザインが可能

マシンルームレスエレベーター SPACEL™は、フィンランドKONE社からのライセンスに基づいて同社製の巻上機(EcoDisc™)を使用している。

階間調整機能付ダブルデッキエレベーター



階間調整機能付ダブルデッキエレベーター
Adjustable double-decker elevator

従来のダブルデッキエレベーターは上下のかご間隔が固定されているため、建物側で階間距離をそろえる必要があった。

当社は、階間距離の異なる建物にも適用できるように独自のボールネジ方式を採用し、上下かごの間隔を自動調整できるダブルデッキエレベーターを開発した。

ボールネジ方式の主な特長は、次のとおりである。

- (1) サーボ機構を採用し、上下かご間隔の高精度な制御を実現
- (2) 上下かごを調整する電動機容量を低減
- (3) 上下かご間隔の調整範囲は最大2,000 mmあり、ほとんどの建物に適用可能